

## ながの健やかプラン21(素案)の記載内容に係る委員の主なご意見等に対する事務局案

No.	頁	区分	ご意見等の内容	ご意見等に対する事務局の考え方(案)
1	22	【基本的方向1】 1 身体活動・運動・スポーツ	住民自治協議会が昨年度から実施している「健康塾」というものがあると聞いている。市が促進する取組として記載したらどうか。	古牧地区住自協が「ほんわか健康塾こまきプロジェクト」と称し、昨年度から先進的に取組んでいる事業は、介護保険課担当の総合事業(本年10月開始)の通所型住民主体サービス等に相当すると考えられる。これらの地域住民を主体とした取組については、基本的方向3の介護保険課が支援する取組として記載する。(60頁参照)
2	27	【基本的方向1】 2 栄養・食生活、食育	指標No.3「低栄養傾向」について、「低栄養状態は、BMIだけ判断することはあまり好ましくない。BMI20以下を低栄養傾向とするのはいかがなものか。BMIでとるならば、指標2の中に入れてもいいのではないか。」	「食事摂取基準2015年版」で新たに目標とするBMIの指標が年齢ごとに示され、70歳以上の高齢期では21.5~24.9となっている。(28頁参照) 高齢期でBMI20以下の方は低栄養のリスクが高まるが、低栄養状態は、血清アルブミン値や血中コレステロール値等総合的に判断することがより望ましいと考え、ご指摘のとおり指標2に追加する。
3	32	【基本的方向1】 3 こころの健康・休養	若者の自殺については、深刻な問題であり自殺の年代別割合の中では小さいが、長野県は10代の若者の自殺率が全国でも高い。市の取組に国が方針を出している「SOSの出し方教育」を入れてはどうか。	子どもの自殺防止に向けて、改正自殺対策基本法第17条に「心の健康の保持にかかる教育・啓発の推進等」が新たに規定された。学校教育現場の市の取組として追記する。
4	36	【基本的方向1】 4 飲酒	指標No.1にアルコール量の目安が示されているが、具体的なイメージがつかめない。	純アルコール量20gの目安をわかりやすくコラムとして掲載する。
5	41	【基本的方向1】 6 歯・口腔の健康	糖尿病に加えて、歯周疾患と循環器疾患の関係についても触れていただきたい。	歯周疾患と循環器疾患の関連性についても追記する。
6	44	【基本的方向1】 6 歯・口腔の健康	指標3の「今後調査」について、具体的にはどんな方法を考えているのか、歯科医師会においても情報の提供が可能である。	平成28年度「まちづくりアンケート」(11月)で現状(噛めない食べ物の有無)を把握する。
7	61	【基本的方向3】 健康を支え、守るための社会環境の整備	主観的健康感という言葉が的確に市民に伝わるかどうか、適当な数値として把握できるか若干疑問に思う。	健康とは、単に「病気がない」ということだけでなく、自分自身が感じるもので、自分らしく生きがいをもって生活できる状態と考え、「自分は健康だと思う」を主観的健康感として把握する。主観的健康感とは、地域コミュニティとのつながりがある人ほど高いとの報告もあり、ソーシャルキャピタルが支える市民の健康状態を示す指標としてとらえ、その推移を把握する。